

平成 28 年 6 月 24 日

鹿児島大学病院脳神経外科で脳腫瘍の治療中に

リハビリを受けた患者さん及びご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院リハビリテーション部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

脳腫瘍患者における入院リハビリテーション中の身体機能および精神機能の推移（後ろ向き研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院 リハビリテーション部

【研究責任者】

鹿児島大学病院リハビリテーション部 講師 吉田 輝

【研究の目的】

鹿児島大学病院はがん診療連携拠点病院であり、特に脳神経外科では多くの脳腫瘍と診断された患者さんが治療を受けています。脳腫瘍で治療を受けられる患者さんは手術後に早く身の回りことが自分でできるようになるために、術後すぐにリハビリテーションを

開始することが多く、その効果も次第に明らかになってきています。しかし、具体的にどのようなリハビリテーションをどのくらい実施することで、より効果的なリハビリテーションの実施が可能になるのかはまだ不明な点が多く、それを検討する情報も不足している状態です。さらにリハビリテーションとともに実施される放射線治療や化学療法（以下、後療法）により一時的に倦怠感や嘔気などの気分不良等、日々の生活に支障を来す可能性のある様々な症状が現れることがあります。これらの後療法がリハビリテーションの実施にどのような影響を及ぼすのか、副作用が現れたときのリハビリテーション内容や強度はどの程度が望ましいのかといった点に関しては十分な検討がなされていません。

本研究の目的は、これまで実施されてきた脳腫瘍の患者さんのリハビリテーションの経過記録から、手術後や後療法中にどのようなリハビリテーションがどの程度実施され、身体機能や精神機能がどのように変化していったのかを検討することで、今後同様にリハビリテーションを実施する方々に対してより効果的なリハビリテーションの実施を可能にすることです。

【研究の方法】

脳腫瘍の患者さんでリハビリを受けた方のカルテから必要な情報（治療前後、退院時の身体機能、日常生活動作能力の状態）を収集し、どのような傾向があるのか調査します。この方法は、過去のデータを調べる際によく使用される方法で、患者さんに直接ご協力いただく特別なことはございません。

●対象となる患者さん

平成 24 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で脳腫瘍の治療（手術・放射線・化学療法等）とともにリハビリテーションを受けられた 16 歳以上の患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

リハビリテーション評価（筋力、関節可動域、運動麻痺、筋緊張、高次脳機能など）、日常生活活動の評価(BI)、簡易上肢機能評価(STEF)、簡易倦怠感尺度（日本語版 Brief Fatigue Inventory）、年齢、性別、意識レベル、腫瘍の種類、治療内容、治療期間、入院期間、リハビリ実施期間、リハビリ実施時間、リハビリ訓練内容、看護記録、医師記録の中から必要な情報を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

データを解析するために必要な資金は、鹿児島大学病院リハビリテーション部の用途特定寄付金で賄います。この研究に対する企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 リハビリテーション部

講師 吉田 輝
電話 099-275-5704
FAX 099-275-5704